



Challenge
Create
Change
Continue
Cあわせ!



大畑小学校 6年生
学級通信 No. 4
令和5年 5月19日 (金)

みんなが笑顔！「ありがとう」を心に！最後まで全力でやり抜く運動会

5月14日の小中合同運動会、大変お世話になりました。運動会が終わって、写真を見返していたとき、親子競技の子どもたちや保護者のみなさんの笑顔を見て、涙が出てきました。今年度新たに親子競技をすることに決まった時、子どもたちから「おんぶ、恥ずかしいなあ〜」などの反応がありましたが、親子で触れ合ったり、改めて「ありがとう」を伝えたりすることがだんだん恥ずかしくなってくる時期だからこそ、「素敵だな」と思え、じーんとしてしまいました。また、ダンスやリレーを一生懸命頑張るキラキラとした子どもたちの姿は、私を含め、たくさんの人の心を動かしてくれたと思います。今回の運動会では、6年生のアイデアで、全校児童で運動会の旗を作ったり、応援歌を作って下級生と一緒に歌って応援したりと、6年生が主体となって運動会を盛り上げてくれました。休み時間も毎日毎日練習で、きつかっただろうし、大変だったと思います。最後の4〜6年合同体育のリーダーからの一言では、6年生が涙ぐむ姿も見られました。それだけ一生懸命に練習に取り組んできたということだと思いました。また、上手い出来ないことや、ケガをしている友達や当日に出られない友達がいる事実をみんなで考えたことで、この9人は、たくさんのことを学び取りました。子どもたちに心からありがとうを言いたいです。



運動会を振り返って 子どもたちの日記から、一部抜粋して紹介します！（他の人は、次回紹介します♪）

○今年の運動会に向けた取組を通して、今まで知らなかったことを自分なりに知りました。それは、気持ちの勝敗です。気持ちの勝敗は、あきらめなければ勝ちで、あきらめたら負けです。今年は赤団が勝ちましたが、自分はそのときとても嬉しかったです。白団もくやしい人がたくさんいたはず。「くやしい」や「うれしい」と思えるということは、運動会をあきらめずに全力でやったということだと思っています。だから、今年の運動会はみんなが勝ちだと思いました。これからもいろんなことにあきらめず、向き合っていこうと思いました。最後に、みんなに言いたいことは、一緒に運動会をしてくれてありがとう！これからもよろしくね！

○ぼくは、リレーリーダーとして、バトンパスを下級生に教えました。最初は上手いかなかったけど、たくさん練習して、みんなが上手になっていってよかったです。本番には出られなかったけど、自分もやっているような気持ちになりました。

○運動会を通して、みんな成長したと思います。きつい練習や、昼休みの練習が嫌だった人もいたかもしれないけれど、そこで弱音を吐かずに前向きにとらえてみんなが頑張ってくれました。最後のダンス練習のときや円陣を組んだときに泣きそうになりました。これまでの練習を一生懸命できたからだだと思います。最後に、みんな、ありがとう！

○今までの運動会と今年の運動会のちがったところは、見に来てくれた人以外に、来れなかった人にも応援をしてもらって、心のキャッチボールができたことです。一つの花びらが集まって一つの花になって、それが満開したような運動会でした。今年の運動会を通して、学校の色が虹色になったように思います。

○みんなに言いたいことは、きついこともあったけど、全力を出し切れてよかったね！勝負の相手をしてくれた、赤団の全員と団長の穂美さん、最後まで、楽しく真剣に闘ってくれてありがとう！赤団のおかげで、恥ずかしくない負けをすることができました。今はまだ少しくやしいけど、後悔はしていません！何度も言いますが、本当にありがとう！